

旅行

障害のある方・高齢の方とご家族のための

サポートブック

みやぎ

旅をあきらめない！

旅行や外出のきっかけ、旅を楽しむ
ヒントが見つかります！

旅を楽しむ 旅行や外出の実例
旅の企画に役に立つ情報を掲載



障害があっても高齢になっても
旅を楽しみたい

という気持ちは誰もが一緒です
でも

準備をどうしたらよいか？

移動の手段は？

行った先で楽しめるか？

宿泊するのは大変そう！

など様々な不安を抱く方や旅行の一步を踏み出すのに

勇気があるという方も多くいらっしゃるかもしれません

このサポートブックは障害のある方や高齢の方

そのご家族や支援される方が

旅行の企画や実施に役立つための実例や

役に立つ情報を掲載しております

このサポートブックがみなさまの旅の一步を

踏み出すきっかけになれば幸いです



仙台・宮城観光
PRキャラクター
むすび丸

広がりつつある障害のある方や高齢の方への旅行支援

障害があっても旅を楽しめる社会にむけた県内や国の取り組み

障害がある方もない方もふつうのくらしを送ることができる社会づくりをノーマライゼーションと呼びます。

昭和40年代半ばから、自由に外出したいと障害のある人たちが声を上げた生活圏拡張運動が宮城県・仙台市で起こり、昭和48年には仙台市が当時の厚生省から身体障害者モデル都市の全国第1号に指定されたという歴史があります。

その後、平成に入り、平成8年に宮城県だれもが住みよい福祉のまちづくり条例が制定され県内の様々な施設のバリアフリー化が図られ、平成13年の第56回国民体育大会及び第1回全国障害者スポーツ大会で、県内のバリアフリーが進みました。

宮城県は平成23年の東日本大震災により、沿岸部では甚大な被害を受けましたが、現在新しいまちづくりに向けて各地で復興が進んでいるとともに、本年12月の仙台市地下鉄東西線開業やJR仙台駅周辺の整備、そして仙台駅東口の再開発などにおいても、さらなるバリアフリーの取り組みが続いています。

観光庁では、ユニバーサルツーリズム〈すべての人が楽しめるよう創られた旅行、高齢や障がい等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行〉を推進しています。

宮城県でバリアフリーなまちづくりに取り組んでいる
特定非営利活動法人 ゆにふりみやぎ 理事長 伊藤 清市



目次

4ページ	手で観る旅 石巻で石ノ森ワールド出会い旅 超有名マンガのキャラクターってこんな姿だったんだ
6ページ	触れて納得 伊達政宗の思いが詰まった洋式帆船を訪ねて 慶長遣欧使節の復元船 サン・ファン・パウティスタ
8ページ	聴いて、触れて楽しむ日本三景松島! 歩いて・食べて・温泉でくつろぐ旅
11ページ	車椅子利用や歩くことが心配な方 車椅子でも大丈夫! 親子で楽しむ仙台七夕
12ページ	東北栗原市から県南山元町へ 復興と未来を感じる旅
14ページ	みやぎの3大スポーツを楽しむ 車椅子アクセスガイド
16ページ	みやぎの冬を楽しむ! 体験アクティビティ チェアスキー
17ページ	バリアフリーな旅行を実現するためのお役立ち情報
18ページ	旅行を計画する際の3つのポイント 旅行をサポートする情報や相談先
19ページ	より旅をイメージするためのチェックリスト



サポートブックの構成と活用方法

このサポートブックは、3つの内容で構成されています。

1 宮城を楽しむモデル事例

視覚障害のある方が、歩き、学び、泊まった体験に基づく旅の事例

車椅子を利用している方、足腰に不安のある方の観光やスポーツ体験の事例を掲載しています。

宮城県内各地での、障害がある方と一緒に行った取材に基づいて紹介しています。旅行の楽しみ方や非日常を味わう視点でもごらんください。

2 バリアフリー旅行お役立ち情報

新幹線のチケットの取り方は？バスの割引は？飛行機の予約方法など、主に公共交通機関の活用法を紹介しています。

3 旅のチェックリスト

旅行に行きたいけど準備はどうしたらいいだろう？家族を旅行に連れて行きたいけど、心配な事を整理したいなど旅の企画にチェックリストをご活用ください。

・・・ご注意・・・

- 本サポートブックで取り上げている事例は、実際の旅行者の心身の状況等に応じて楽しめるように企画、取材を行って掲載しています。
- 実際に旅行モデル事例のコースを行かれる際には、旅行される方の心身機能や活動の状況、同行する介助者又はご家族の有無、福祉用具の活用が可能か等、配慮しなければならないこと、行程や実施方法の変更が必要となる場合があります。
訪問先での体験や利用施設の受け入れを保証するものではありません。
- 旅行の企画や実施にあたっての相談先も掲載しておりますので、ご活用ください。
- 本冊子に掲載した内容は、平成26年8月～平成27年2月の取材・調査によるものです。発行後に、施設の営業時間や各種データが変更されたり、ご利用できない場合があります。ご利用の際には、改めて事前にご確認ください。

視覚障害 と旅のポイント

- 余裕を持ったスケジュールで「手で観る旅」が充実する
- ミュージアムではスタッフの合理的配慮を踏まえた対応も旅行者の満足につながる
- 視覚障害がある人自身が「触るためのマナー」を磨くことも重要
- 視覚障害がある人にとってのおもしろスポットは意外なところにあるかも

視覚障害がある人にとって、案内板やサインから情報入手ができないため、慣れていない場所は1人で移動するのが難しく、旅行は勇気や事前の十分な準備が必要となります。そのため、「旅行に行きたいけれど自分には無理だな」と諦めてしまう場合もあります。あるいは「友人と一緒に観光に出かけたが、食べることしか楽しみがなくて、後はおもしろくなかった……」なんて感想を持ってしまう人もいらっしゃるかもしれません。そこで今回、視覚障害がある人が楽しめるポイントを探しに石巻へ小さな旅に出かけてみました。



石巻駅改札口にて

①石巻駅 石ノ森ワールドの玄関

石巻駅に降り立つと、そこは石ノ森ワールドの入り口。小牛田駅から乗ったJR石巻線は運の良いことに石ノ森マンガのヒーロー・ヒロインを車体に描いた「マンガタンライナー」でした。駅の正面入り口には、サイボーグ009達の立像が出迎えてくれます。



石巻駅前

仙台から石巻へ

- JR仙台駅（発）
- ▽
- JR東北本線・石巻線
（小牛田駅乗換え）約1時間30分
- ▽
- ◇石巻駅
- ▽
- ◇マンガロード
徒歩約15分
- ▽
- ◇石ノ森萬画館
所要時間約2時間



手で観る旅
触れて納得

石巻で石ノ森ワールド出会い旅
超有名マンガのキャラクターってこんな姿だったんだ

◇マンガロードで触れる



マンガロードにてロボコンと一緒に記念撮影



石巻商工会議所前のゴレンジャー

石巻駅から北上川の中州（石巻市中瀬）に向かうルートには、石ノ森マンガに登場する約20体のキャラクターのモニュメントが設置されており、「マンガロード」として観光客を楽しませてくれています。

「名前だけは知っているけれど、どんな体型・どんな姿なのかな？」という疑問を解消してくれるので、視覚障害がある人は気になるキャラクターに会いに街歩きしてみるのがおすすめです。どんなキャラクターなのか確かめたら、キャラクターのポーズをまねて記念撮影してみるのもおもしろいかも!!



石ノ森萬画館 建物写真

DATA

ご案内いただいたのは
企画営業
本郷 由華さん



石ノ森萬画館

宮城県石巻市中瀬2-7
☎0225-96-5055
ホームページ

<http://www.man-bow.com/manga/>
身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳を受付で提示することによって有料ゾーンの観覧料金が、介助者1名を含めて無料になります。

©石森プロ ©石森プロ・東映

③石ノ森萬画館で触れて、体感



「仮面ライダーの世界」にある体験アトラクション「サイクロン号に乗る！」(有料)は、オートバイの形をしたサイクロン号にまたがりハンドルを握ることによって画面に映る走行コースをさっそうと走り抜ける体験ができます。こちらは弱視の方も楽しめそうです。



3階にあるライブラリー・マルチメディア工房は石ノ森章太郎作品以外にも約6000冊のマンガが所蔵されていて、無料で自由に読むことができます。また、映像作品を楽しむことができるブースも3つ設けられています。平日は、ライブラリーが所蔵している映像作品から好きなものを選んで視聴

ができます。子供の頃夢中になったあのアニメマンガの懐かしい声・懐かしい効果音・懐かしいテーマソングを聞くと、思わず子供時代の記憶が次々とよみがえってくるかもしれません。スタッフの方もとても親切に視聴をサポートしてくれます。



石ノ森ワールドを満喫すべく、常設展示室を巡ってみました。見学エリアの1つが「サイボーグ009の世界」です。ここでは、001から009までのキャラクターが来館者を歓迎してくれています。各キャラクターの人物設定を確かめながら一人ひとりの特徴を探ってみると、思わぬ発見ができそうです。

味で楽しむ！



「石ノ森先生の思い出の味 チキラーセット(おかず・ミニライス・メロンソーダ付) 650円」

展望喫茶カフェ「BLUE ZONE」では、キャラクターにちなんだ名前のメニューが並ぶ。



仮面ライダーが座るベンチで、仮面ライダーと腕組

旅人のコメント

マンガは、見えない人・見えにくい人にとってはともすると縁遠いものですが、宮城県出身のマンガ家石ノ森章太郎の作品に触れられるということで石巻に出かけてみました。石ノ森萬画館のスタッフの対応がとてもいい感じが印象的でした。情報障害と言われる視覚障害がある人にとっては、このような来館者個々のニーズに応じた人的な対応(ソフト)が充実していくことは旅を楽しいものにしていくうえでとても意義があります。また、障害がある人たちに対して合理的配慮を提供することがさまざまな場所・場面で今後ますます求められるようになります。そんななか、「ミュージアム

で提供できる/提供すべき合理的配慮は何か?」について考え、実践していくことがよりいっそう必要になってくるでしょう。ミュージアムのいちばんのウリは何と言っても展示です。その展示に視覚障害がある人もよりいっそう触れることができ、学び・楽しむことができるよう、いろいろな工夫を試みていただくとことを期待しています。



触って発見！ ミュージアムショップ

ミュージアムショップは視覚障害がある人にとって隠れたお楽しみアクティビティです。

1階の無料ゾーンにあるグッズショップ「墨汁一滴」では仮面ライダーやゴレンジャーなど“石ノ森ワールド”に登場するキャラクターのフィギュアをはじめ、触って楽しめる商品が多くあります。今回の訪問でお勧めだった商品はミネラルウォーターのペットボトル。このペットボトルはボトルの形が仮面ライダーの胴体をかたどっているため、手軽に触って楽しめます。

グッズショップ「墨汁一滴」にて仮面ライダーの胴体をかたどったペットボトル



視覚障害 と旅のポイント

- 訪問する博物館のスタッフへの事前の相談・問い合わせで見学ガイドツアーを実現
- 「大きな展示品」の全体像をつかむ工夫は、手ごろなサイズの模型を用いてイメージ作り

その土地にまつわる歴史に、「触れる」ことも旅の楽しみの1つです。そこで、今回は慶長遣欧使節を送り出すために伊達政宗が建造した木造洋式帆船「サン・ファン・パウティスタ号」の復元船を係留・展示している博物館に出かけてみました。

模型に触れて復元船をイメージ



サン・ファン館内で復元船の模型を触り、船の形を頭に入れる

視覚障害がある人がサン・ファン・パウティスタを楽しむにあたって、おすすめなのが館内にある復元船の模型です。

今回訪れたサン・ファン・パウティスタのような「大きな展示品」（建物や自然景観なども含む）を視覚障害がある人、とりわけ全盲の人が楽しむ場合、その全体像をいかに掴むかが大きなカギとなります。館内スタッフから、「復元船の模型がありますよ」と言って案内してくれました。船全体の形、帆を張った3本のマスト、航海の無事を祈って船首に



取り付けられた龍の飾りなどは触れるとよくわかります。

石巻からサン・ファン館

石巻駅
ミヤコーバス鮎川線
約30分

▽
サン・ファンパーク前
▽
サン・ファン館見見学
所用時間約2時間

※注意

ミヤコーバス鮎川線は土・日・祝日のみサン・ファンパーク前バス停に停まります。平日は駅からタクシーをご利用ください。

アテンダントと巡るサン・ファン館



展示室の案内



復元船にてアテンダントと

最近、各地の博物館・美術館ではスタッフやミュージアムボランティアなどによる来館者向け見学ツアーを実施しているところが少しずつ増えてきました。

サン・ファン館では視覚に障害がある来館者がどうしたら楽しめるか事前に相談してみるところから旅はスタートしました。今回は、個別に慶長使節展示室および復元船を館内ガイドスタッフ（アテンダント）のご案内で、巡ることとなりました。

DATA

ご案内いただいた館内スタッフ



復元船内は段差や急な階段があり、見学される方の状況により介添えが必要な場合もあります。

宮城県慶長使節船ミュージアム (愛称：サン・ファン館)

〒宮城県石巻市渡波字大森30-2
☎0225-24-2210

ホームページ <http://www.santjuan.or.jp/>

身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳を受付で提示することによって観覧料金が割引となります。詳細はお問合せください。



サン・ファン・パウティスタ全景

手で観る旅
触れて納得

伊達政宗の思いが詰まった洋式帆船を訪ねて
慶長遣欧使節の復元船 サン・ファン・パウティスタ

サン・ファン館を体感、実感



復元船ドック棟に置かれているフォアマストと見張り台

サン・ファン館がある石巻市渡波地区は、牡鹿半島の付け根の位置にあり、東日本大震災の津波で大きな被害を受けました。

サン・ファン館もドック棟が8メートルのところまで浸水。そのため、ドック棟に展示していた模型などの展示品は海に流出してしまいましたが、復元船そのものは流出を免れ、2013年秋に再開館することができたとのこと。この年は慶長遣欧使節が牡鹿半島の月浦を出帆した1613年10月からちょうど400年という節目の年でもありました。

津波の影響で破損してしまったフォアマストと見張り台の一部が、東日本大震災の被害を後世に伝える品としてドック棟に保存・展示されており、これらは手で観る旅を楽しむ上ではとても貴重な展示物となっていました。

復元船は全部で4層になっていました。それらを順に見て回れるよう、見学コースが設けられています。

3本のマスト、帆を調整するロープ、船の進路を調整する舵、航路を記録するための道具など、日本からはるばる太平洋を越えた当時の航海技術がうかがい知ることができる場所が随所にあるばかりでなく、長い航海の間、乗り組んだ人たちがどのように暮らし、食料を確保し、いざという時に備えたのかについて実によくわかる展示となっています。



メインマストの根元



舵取り人

支倉常長のベッドを体感

復元船の見学順路では、支倉常長の部屋がありベッド（寝台）は船の大きな揺れにも耐えられるように全長130cmとたいへん狭いつくりになっていたことをスタッフが説明してくれました。しかし、残念ながらどれほど狭いベッドなのか、実際に触ってみることは復元船と言えども難しいとのことでしたが、デッキ棟の出口で「支倉常長のベッド」の原寸大模型を発見。どれだけ狭いか実際に横たわってみて体験してみました。こんな体験が旅の思い出をよりいっそう豊かなものにしてくれるんだな、と改めて実感しました。



寝るのも、
楽じゃない～

旅人のコメント

「視覚障害がある人が楽しめる展示はほとんどないんです」「視覚障害がある人をどのように案内したら良いのか正直よくわからないんです」「視覚障害がある人は階段や段差が多い館内を果たして安全に移動できるのか、とても心配なんです」こんな声を博物館をはじめとする観光施設のスタッフから聞くことが多いのが現状です。そしてそんな「認識のバリア（壁）」が、障害がある人に旅行を断念させている要因の1つになってしまっているのも現実です。

でも、伊達政宗の命を受けて約400年前にはるばるヨーロッパまでの長旅を成し遂げた支倉常長の偉業に思いを馳せた時、「それまで知らなかったことを知る楽しみ」「新たな挑戦をしていくことの大切さ」という言葉が頭に浮かびました。宮城県の郷土の歴史を知ることができるスポットとして、世界とつながろうとした仙台藩について学ぶことができる体感型ミュージアムとして、視覚障害がある人にぜひ今後どんどん訪れてほしい場所の1つだと思います。

触って発見！ミュージアムショップ

サン・ファンショップで見つけた「ペーパークラフト（青空編・夕焼け編）」旅の思い出を持ち帰るのにおすすめかも



聴いて、触れて楽しむ日本三景松島! 歩いて・食べて・温泉でくつろぐ旅

手で観る旅
触れて納得

視覚障害 と旅のポイント

- ガイドを利用して、よく聞き、よく触ってオーダーメイドの松島観光を実現
- 触れて楽しむスポットの探索
- 旅館のスタッフにサポートを依頼して、安心して快適な滞在を実現

日本三景とは、すなわち日本で「素晴らしい景色をめぐることができるベスト3」のこと。その3つのうちの1つが宮城県の松島です。この景色を視覚障害がある人（全盲）がどれだけ楽しめるか? 「見えないと無理だわ」と諦めている方もいるかも知れません。「一度は訪れたい」と多くの人が思っているであろう松島で、温泉での一泊も加えたちょっと贅沢な旅の計画を立てました。

日本三景松島散策 1泊2日

- ◇ JR仙石線松島海岸駅 徒歩5分
- ▽
- ◇ 松島観光協会インフォメーション
- ▽
- ◇ 日本三景松島散策
観光ガイドと共に2時間
- ▽
- ◇ 瑞巖寺
観光ガイドと共に1時間
- ▽
- ◇ 遊覧船で松島湾巡り 1時間
- ▽
- ◇ 松島温泉の旅館（泊）

① JR仙石線松島海岸駅



JR仙石線松島海岸駅に降り立ち、海岸方向に向かいます。

② 松島観光協会インフォメーション



松島観光協会ではボランティアガイドからの説明を受けます。松島湾の地理について手を取って教えてくれたのがとてもわかりやすい!

③ 日本三景松島散策

ボランティアガイドの方と「視力はどの程度ですか?」「松島は初めてですか?」など、顔合わせを兼ねた確認をお互いに行なった後、松島散策に早速出発です。今回の旅では、ボランティアガイドの方々にお世話になりました。見えない人・見えにくい人が旅先で観光地を巡る時、あらかじめガイドの手配をしておくことで現地での楽しみが広がります。ボランティアガイドの相談に応じている団体や依頼方法、料金などはその土地・その訪問先によってさまざまです。ぜひ、訪問先の観光協会などに問い合わせると良いでしょう。

ボランティアガイドとの街歩きルート

- ① 観瀾亭／触れる仁王島 ② 五大堂 ③ 水主町（かこまち） ④ 三聖堂 ⑤ 瑞巖寺



触れる仁王島で、松島を感じる

目で見てその美しさに見とれるという松島の風光明媚な景色を視覚障害がある人、とくに全盲の人がどれだけ楽しめるか? さまざまなニーズを持つ観光客への情報提供がまだまだこれからという現状では楽しむための材料をいかに見つけるかがポイントです。そんな中、画期的とも言えるものを観瀾亭で見つけました。それはこの「触れる仁王島」。岩の形の特徴をしっかりと触って確認し、イメージを掴むことができます。



DATA

松島観光協会インフォメーション
 宮城県宮城郡松島町松島字町内98-1
 電話 022-354-2618

遊覧船乗り場の待合所にあり、松島ボランティアガイド[松島名勝案内]の予約も松島観光協会が窓口となっています。

※ 3日前まで要予約（平成27年3月現在）



五大堂の透かし橋を歩く

五大堂へと続く朱色の欄干が印象的なこの橋は、透かし橋となっています。白杖で慎重に一步先を辿りながら、透かし橋を歩いてみました。無事渡り終えた達成感は一ひとしおでした。



◆伊達家の菩提寺 国宝「瑞巖寺」

瑞巖寺は、専門の観光ガイドの案内で訪れました。瑞巖寺は現在、平成20年の秋に始まった「平成の大修理」の真っ最中。そのため、本堂など通常の拝観順路は閉鎖中でしたが、その分、庫裡（くり）など普段は一般の観光客に公開していない場所を巡ることができるようになっていました。そんな拝観順路の中から、「手で観る旅」「視覚障害がある人の旅」として興味深かったスポットをご紹介します。



DATA

瑞巖寺（国宝）
 宮城県宮城県松島町松島字町内91
 ☎022-354-2023
 身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳の提示で入館料の割引があります。
 （参道の工事があり、通行できない場合があります）

東日本大震災の爪あと



瑞巖寺参道杉並木の中に残された切り株

松島は東日本大震災での大きな被害は免れたようですが、それでも瑞巖寺参道あたりにも津波が来たとのこと。そのため、総門から続く参道の杉木立の一部も海水の影響で木が衰えてしまい、やむなく伐採せざるを得なかったそうです。そんな切り株が残されていました。触ってみることで、いかに大きな杉の木であったか想像できました。



岩山の洞窟に触れる

瑞巖寺の東西に横たわる岩山に掘られた洞窟群があります。慈覚大師円仁がここ松島にお寺を創建した平安時代初期に始まる瑞巖寺の歴史の変遷を知ることができるのがこれらの洞窟群だそうです。

国宝の庫裡も、平成の大修理期間中、特別公開されており、中に入ることができました。



本尊および政宗公・忠宗公の位牌

江戸時代になって瑞巖寺は伊達家の菩提寺となっています。本来は本堂に安置されている本尊および政宗公・忠宗公の位牌は平成の大修理の期間中、大書院で特別に公開されています。弱視の人であれば、近い距離で見ることができる絶好の機会となっています。

生き

磯崎漁港そばの漁師直売店では、かきをはじめとする海産物をその場でいただくこともできます。「殻に入ったかきってこんな形だったんだ」「殻むきにはこんな道具を使うんだ」など、お店の方が手を取って教えてくれました。その後はもちろん、生きを堪能しました。



かきの殻むきの様子

かきバーガー

松島産かきでつくったかきクリームコロッケを、宮城県産ササニシキの米粉パンズで挟んだ松島ご当地バーガーです。



かき丼

松島ではあちこちの飲食店ごとに独自の工夫をこらしたかき丼を提供しています。街歩きに疲れたらお昼ご飯にいかが？
 （提供期間1月～3月）



◆遊覧船で松島湾巡り



遊覧船仁王丸

松島めぐりの締めくくりとして、遊覧船に乗ってみました。風の強い日でしたが、船のデッキに立つと波の音、風の勢い、太陽の光などを感じることができました。観瀾亭で仁王島の模型を触った記憶は、船が仁王島のそばを通っているという船内アナウンスを聞き、どんな島なのかイメージを描くのにも役に立ちました。

旅人のコメント

日本三景の松島を視覚障害がある人、とくに全盲の人がいかに楽しむか…、楽しめるか…？まだまだ解決すべき課題は多いものの、その解決の糸口が少しつかめたような今回の松島めぐりでした。言葉による説明、手で観てイメージをつかむことができる立体的な地図、そして実際に足で歩きながら風や音や光を感じる体験……。そんな組み合わせによって、楽しい旅、思い出深い旅が宮城県でも当たり前に行けるようになるといいですね。

松島の温泉宿で のんびり、ゆったり



◇松島温泉の旅館に宿泊

旅には宿泊が付きもの。障害があると、慣れない場所での宿泊にためらいを感じ、日帰りで行くことができる範囲でお出かけするという方もいらっしゃるかもしれません。しかし、宿泊施設のスタッフに援助してほしいことをうまく伝え、スタッフの方にもサポートの仕方や工夫を知っておいていただくことによって、視覚障害がある人の旅のメニューが広がり、安全・安心で充実した旅を計画することにもなるでしょう。今回の松島の旅では、松島温泉にある1泊2食付きのお宿でのんびりステイを楽しみました。

松島海岸の遊覧船発着所前から宿までの移動には温泉宿の送迎車を利用。宿によっては最寄りの鉄道駅や主要な観光施設からの無料での送迎を行なっているところもあります。旅の計画を立てる段階で、宿泊施設に問い合わせると良いでしょう。



玄関からロビーへ

所定の宿泊者カードに氏名や住所などを記入することも視覚障害がある人にとっては難しい場合がありますが、そんな時はスタッフの方に頼んでみると、多くの場合、快く代筆してもらうことができます。



客室に案内されたら、各種設備の使い方について詳しく説明をうけておきましょう。とくに電話機やエアコンの操作盤については、どこにあるのか、どのようなボタンがあるのかなどについて、必要に応じて手を取ってもらいながら説明してもらいましょう。

客室内の電話機の使い方の説明を受ける



客室内のエアコンの操作盤の使い方の説明を受ける

今回は、宿泊の予約を宿に入れる際にあらかじめ相談をすることによって展望浴場への誘導をしてもらうことができました。



展望浴場で説明を受ける



展望浴場で入浴



食事 料理の説明を受ける

食事の際も、メニューの説明をはじめとするちょっとしたサポートを頼んでみましょう。



食事 小なべの調理をお願いする



「おみやげ選びも旅の楽しみの1つだね」とお思いの方もいらっしゃるでしょう。宿泊施設にはおみやげショップを設けているところが多いですが、時間の余裕を持ってスタッフの方にショッピングのサポートを依頼するのも良いでしょう。

旅人のコメント

鉄道や飛行機、あるいは宿泊施設で接客に携わるスタッフがサポートしてくださると、移動や旅行のバリアを減らす上で大きな力になります。とくに、「情報入手の障害」とも言われる視覚障害がある方にとって、例えば移動時のサポートの方法、椅子への案内の仕方、テーブルの上にあるものの説明のコツなどをスタッフの方に知っておいていただくと、安全・安心・スムーズな旅行が実現します。視覚障害がある方自身も、どんなサポートがあると充実した旅行ができるのか、経験を積み重ねながら、具体的に伝えられるようになるといいですね。

親子でも楽しむ仙台七夕

車椅子でも大丈夫！

旅のポイント

- 動線の工夫や休憩場所の事前チェック
- 安心して休める場所の確保

車椅子ユーザーや家族にとって、街中の移動はただでさえ負担や不安が大きいもの。仙台七夕では、人ごみの多さがわかります。車いすトイレや車椅子で入りやすいお店などの事前チェックを行なって、車椅子の移動で、3人の親子が仙台七夕をゆっくりと楽しめた行程をご紹介します。



① JR 仙台駅 2 階のスタンドグラス前には、七夕開催中特設の案内所が設けられています。まずはここでガイドブックを受け取ってスタートです。案内所は主要なポイントに設置されており、救護所も兼ねています。※車椅子の借用も可能で、返却もこの場所で行ないます（3時間まで）。

② 晴天の日は案内所からそのまま外出て、ペDESTリアンデッキで記念撮影



バリアフリー Point!

アエル前のエレベータの場所は事前にチェック！降りるとアーケードは目前です。雨天時は、仙台駅北側のエレベータが便利です。

④ サンモール一番町まで来ると、人混みは一段落となり、比較的ゆったりと吹流しを見ることができます。



昼食は仙台名物牛タン。テーブル席で、車椅子の移動も可。食べやすいひとくちカットのオーダーにも対応。

車椅子で巡る仙台七夕 所要時間 3 時間程度

- JR 仙台駅（発）
- ▽
- ▽
- ◇七夕案内所・救護所
- ▽
- ▽
- ◇ペDESTリアンデッキ
- ▽
- ▽
- ◇中央通り七夕飾り
- ▽
- ▽
- ◇サンモール一番町
- ◇ホッとステーション
- （中心市街地レスパイトサービス）

※車の利用の場合は、仙台七夕期間中、錦町公園内には高齢の方、障害のある方の無料駐車場が設けられています。事前に主催者に問い合わせを利用して下さい。



③ 中央通り七夕飾り



バリアフリー Point!

サンモール一番町にある中心市街地レスパイトサービス『ホッとステーション』は、障害のあるお子さんと家族が、休憩したり、お子さんを預けることができます。（車椅子用トイレも設置されています。）

ホッとステーション



ママもホッと一息



仙台市在住の柳川さん

毎年、七夕まつりは見てみたいと思いましたが、混んでいるのであきらめていました。行程の工夫と立ち寄り先のチェックで、想像していたより、ゆっくり楽しめました！

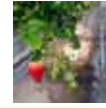
DATA

中心市街地レスパイトサービス一番町『ホッとステーション』
 宮城県仙台市青葉区一番町2丁目5-5 一番町中央ビル 5 F
 電話022-227-2301 ホームページ <http://1hot.web.fc2.com>
 仙台市総合観光案内所
 電話022-222-4069

復興と未来を感じる旅

旅のポイント

- 信頼できる支援者と共に、安心できる旅行が実現
- バリアフリー化され、再開したいちご農園での収穫体験



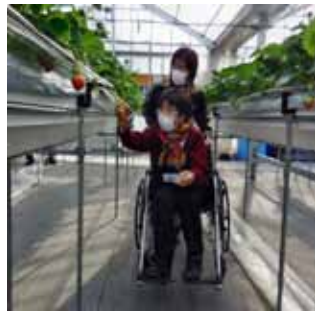
旅人は、左片麻痺で屋外の歩行は杖や装具が必要な佐藤さんと普段から車椅子の介助が必要な佐々木さん。お二人とも病気になってから、旅行や外出という様々な不安があり、新たなことをするという気持ちにはなっていなかったそうです。今回の旅行は、日頃から信頼を寄せている介護サービス事業所のスタッフのサポートがあり、1歩を踏み出しました。特定非営利活動法人みやぎ身体障害者サポートクラブの職員と自動車での移動を中心とした日帰りミニ旅行を企画しました。



旅人が住む栗原市から車で2時間。福島県に接する町、巨理郡山元町のいちご農園に到着。農園は国道6号と海の間に位置しています。震災時はいちご農園があった場所も津波が来ていたとのこと。津波で山元町の9割のいちご農家が農園を失いました。その後、かつて田んぼだったところに地元の方の努力と全国から頂いた支援の力が合わさって、いちごハウスが甦りました。

旅人の二人 ピニールハウス前で 復旧した山元町のいちごハウス

1棟のビニールハウスは50メートル四方で巨大です。通路の幅は1メートルで、路面もシート張りで車椅子の移動や杖での歩行が可能となっています。農園内はところどころ未舗装の部分もあるので注意が必要です。いちごの棚の高さは約1.2メートルとなっており、座りながらいちごに手が届く高さです。



車椅子が直進可能な幅員



通路は杖歩行での移動も◎



体験した農園の岩佐さんに、ハウスの復旧までの道のりやいちごの品種についてお話を伺いました。より多くの方にイチゴ狩りを楽しんでもらうハウスとなるように、通路の幅や棚の高さなどの設計の工夫に取り組んでいます。



訪問した農園では、カフェが併設されており、食事や休憩のスペースもいちごハウスの近くにあります。



山元町



カフェ店内のメニューも、いちごがいっぱい



農園のトイレは、車椅子にも対応

DATA

山元町内のいちご農園については、下記のホームページを参照ください。
山元町ホームページ/山元町いちご狩り情報
<http://www.town.yamamoto.miyagi.jp>

いちご農園を後にして、障害福祉サービス事業所として、カフェや作業所を運営している工房地球村へ。

ここは、震災後に全国の支援を得て、トレーラーハウスでカフェをオープンしています。町の方や観光客の憩いの場になっている素敵なやすらぎカフェです。

店内で、特産のりんごを使ったアップルパイを食べながら、小さな旅の行程をふりかえりました。



カフェ地球村



トレーラーハウスは以外に広い

DATA

山元町共同作業所 カフェ地球村/工房地球村 宮城県巨野郡山元町真庭字名生東75-7
 ☎0223-37-0205 ホームページ <http://kobo-chikumura.com/>



旅人のコメント

かなり内陸まで津波がきて、被害の大きさを痛感しました。そんな中で、栗原もそうだったが復興はみんなで力を合わせて来た結果だと強く感じました。復活したいちごハウスは地域の方の底力を感じました。改めて人や地域の強さを感じ、元気をもらった気がします。ありがとうございました。



今回の旅は車で長距離の移動で、様々な不安がありましたが、意外と楽しめました。農園は様々に配慮されていて驚きましたが、こういった観光施設が新たに増えること、既存の施設もさらにバリアフリー化が進むことを期待しています。



仙台空港から
空の旅へ

航空機の予約について

車椅子での航空機に搭乗までの流れは、航空会社で違いもありますので、まずは利用する各航空会社に相談することがポイントとなります。本冊子の17ページを参照ください。

空港へのアクセス

仙台空港へのアクセスの主なものとしては、仙台空港アクセス鉄道と自家用車の2通りがあります。鉄道の場合は、改札からそのまま2階の航空会社チェックインカウンターにアクセスできます。自家用車の場合、駐車は空港内の駐車場が便利です。身障者用駐車場19台分があり、精算所の係員に身体障害者手帳を提示すると通常料金の50パーセント割引となります。駐車場からは、エレベーターで連絡橋を通じて航空会社チェックインカウンターのある階に向かうことができます。送迎を利用する場合は、障害者用乗降場もあります。ここではインターホンを押すことで車椅子を借りることができます。空港内での案内は、1階の総合受付で対応。バリアフリートイレは各階に完備されており、1階には介護用ベッドも設置しています。



空港1階総合案内



自動車乗降場



空港内多目的トイレ

飛行機を利用する時の実際

今や海外にも電動車椅子で単身旅行ができる時代になりました。航空機利用のコツは予約時に歩行の状況、車椅子の仕様、付き添いの有無、人数などの情報を的確に伝えることです。ここでは、仙台空港発着便が最も多い全日空機の搭乗までの流れをご紹介します。

空港へは余裕をもって、特に電動車椅子の方は、バッテリーの目視確認や飛行機への搭載に時間を要する場合がありますので、国内線は出発時間の60分前まで（国際線では120分前まで）に到着しましょう。

空港内での歩行移動が困難な方は、空港用の車椅子を利用することができます。この車椅子は、空港内はもちろんのこと、大車輪を外すことで機内座席まで利用できます。常時車椅子をお使いの方は、機内搭乗口で空港用の車

椅子に乗り換えることになり、自分の車椅子は到着空港で受け取るようになります。保安検査では、車椅子が金属探知機に反応するので、係員が身体を触って検査することもあります。搭乗の際は他のお客様より先に、事前開札にて機内へご案内されます。降機は最後になることが多いです。なお、機内用の車椅子をご利用の際は、客室乗務員にお知らせください。全日空のサイト <http://www.ana.co.jp/share/assist/>には、動画による搭乗までのご紹介や「歩行状況チェックシート」が掲載されています。



空港用車椅子



機内用車椅子

ANA おからだの不自由な方の相談デスク ☎0120-029-377 0570-029-377/携帯電話

みやぎの3大スポーツを楽しむ

車椅子アクセスガイド



宮城県内にはプロサッカー、プロバスケットボール、プロ野球の本拠地があります。このページでは各スタジアム・アリーナの最寄り駅から会場までのアクセス、車椅子席などについて、普段から試合観戦に出かけている方々と共に、公共交通機関を利用し確認した情報をご紹介します。各施設のバリアフリーを確認し、ぜひ観戦にでかけてみてください。

ベガルタ仙台 ホームスタジアム 仙台市泉区 ユアテックスタジアム 仙台

アクセス/最寄駅の仙台市地下鉄泉中央駅もしくは八乙女駅
泉中央駅にあるペデストリアンデッキはエレベーターが設置されています。
駅からスタジアムまでは、歩道も整備。ほぼ平坦となっています。
身体障害者用駐車場のご利用の方は車椅子席購入時にお申し込みください。
泉中央駅駐車場も車椅子利用が可能です。

車椅子バスケットボールチームに所属している山田さんベガルタ仙台の試合当日のスタジアムを紹介します。



○車椅子席の購入
前売りのみ
びあJリーグダイヤル
☎0570-02-9585

○割引情報
身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳の提示で、自由席当日券が半額になります。65歳以上の方は、当日券の割引価格での販売も行なっています。
(当日券がある場合のみ)

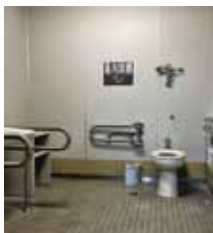


トイレ (車椅子での利用可)

多目的トイレは、男女4ヶ所ずつあり。簡易オストメイト設備もあります。

車椅子席は全部で96席あります。

場内の通路は広いので、車椅子介助もらくらくです。



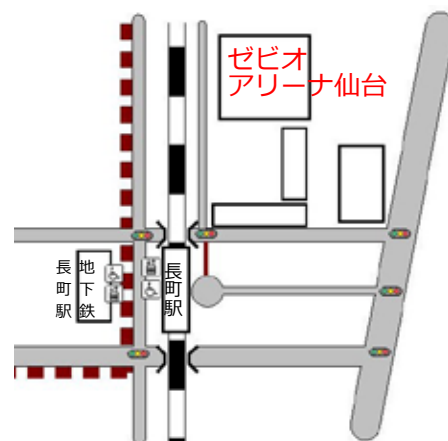
仙台89ERSホームゲーム会場 仙台市太白区 ゼビオアリーナ 仙台

アクセス/最寄駅はJR長町駅もしくは仙台市地下鉄長町駅
駅からスタジアムまでは歩道が整備されており、新幹線の高架橋に添って、ほぼ平坦な道です。一般来場者向けの駐車場はありませんが車椅子席をご購入の方で希望の場合は、駐車場の利用が可能です。駐車台数には限りがあるので確認が必要です。



両下肢障害で電動車椅子を利用している高橋さんはヘルパーの成田さんと一緒に観戦。

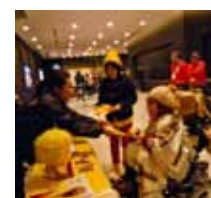
車椅子席は、1階2階それぞれにあります。車椅子席は全部で9席あります。



トイレ (車椅子での利用可)
多目的トイレは、1-2階それぞれ1ヶ所ずつあり。オストメイト用設備、大人用ベッドあり。



1階車椅子席からは迫力ある試合が見られます。館内には多くのボランティアの方がいらっしやるので、安心して見られますよ。



○車椅子席の購入
一般販売開始日より電話受付となっています。
仙台89ERSチケット事務局
☎022-215-8138

東北楽天ゴールデンイーグルス 仙台市宮城野区 楽天koboスタジアム宮城

アクセス/最寄駅はJR宮城野原駅
地下にある駅と地上部へは、エレベーターがあります。横断歩道が1ヶ所ありますが、駅から球場はほぼ平坦となっており、歩道も整備されています。
来場者用の車椅子駐車場もあります。事前に予約が必要です。

両下肢障害で電動車椅子を利用している和山さんが、オフシーズンの球場を紹介。

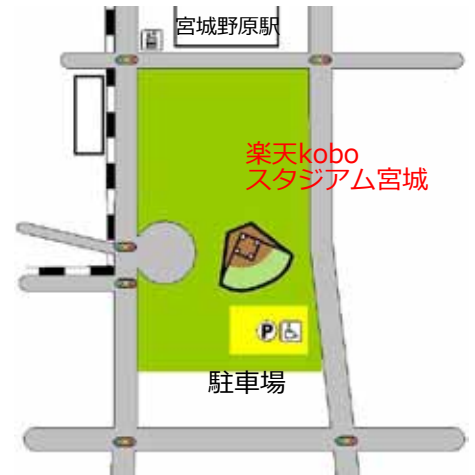


車椅子で観戦できる場所は5ヶ所あります。外野席では、広く見渡せておすすめです。

場内エレベーター



レフト側外野車椅子席



駐車場

トイレ(車椅子での利用可)
多目的トイレは、場内に12ヶ所あり。



5階車椅子席



一塁側内野車椅子席



宮城野原駅構内は楽天カラーの壁面で、駅到着から気分は観戦モード。胸が高鳴ります。



○車椅子席の購入
電話受付
楽天野球団チケットセンター
☎050-5817-8192

車椅子で新幹線に乗るには？

東北新幹線には車椅子対応座席がありますが、席に限りがあるため、乗車の1ヶ月前の日の午前10時から2日前までに乗車駅へご本人または代理の方が直接または電話での申し込みが必要です。なお、当日の申込みの場合は希望の新幹線に乗車できないこともあります。乗り換え時には、駅の係員の対応も可能です。

例/東北新幹線仙台駅から新宿駅に向かう場合
仙台駅での乗車～東京駅での中央線への乗換～新宿駅での降車

仙台駅から新幹線に乗車するには？

○予約の方法

電話で申し込みする際は、仙台駅に乗車希望日時を伝え、仙台駅から電話で予約の結果の連絡があります。その後、駅1階北側駅事務室にて予約表をご本人及び代理の方が受け取り、駅3階みどりの窓口でキップを購入します。なお、割引対象の方は窓口で障害者手帳の提示が必要です。

(割引については本冊子の17ページを参照ください。)

○旅行当日

乗車当日は発車20分前までには駅事務室にお出かけください。乗車時間まで待機室やトイレを利用できます。

○問い合わせ先

県内その他の駅からの乗車に関しては下記にご連絡ください。

JR東日本

仙台駅 022-222-5865

古川駅 0229-23-2311 < くりこま高原駅 0228-22-7176

白石蔵王駅 0224-25-1240



E5系



E2系



E5系車椅子対応席



E2系車椅子対応席



E5系多目的トイレ



E2系多目的トイレ

東北新幹線と乗車方法ご紹介。
車椅子対応席は3列の座席を1列取り外したタイプです。

新幹線
で
Go
Go
Go



みやぎの冬を楽しむ！

体験アクティビティ チェアスキー

車椅子ユーザーにとって、雪は移動を妨げるやっかいなものというイメージを持つ方も多いと思います。スキーのイメージは、機材等の準備、現地までの移動、スキー場でのトイレや雪の上での移動の不安等もあります。このページでは、仲間やインストラクターとともに、脊髄損傷の車椅子ユーザーがみやぎで初めて雪の世界に飛び出したチェアスキー体験ツアーをお伝えします。

チェアスキーとはどんなもの？

スキーの板にイスをつけたものです。チェアスキーは1本のスキー板の上に、衝撃を吸収するサスペンションをつけ、その上に座るケットシートが取り付けられています。ストックの下に小さなスキー板がついた「アウトリガー」を両手に持ち、座った状態で雪上を滑ることができます。

誰でも楽しめますか？

チェアスキーは、障害のない人もある人もだれもが一緒に楽しめるスポーツです。



チェアスキーの基本構造



山上での1枚



今回体験した宮城県川崎町セントメリースキー場



車椅子からチェアスキーへの移乗



座面のリフトアップ

ケットシートに車椅子を横付けして乗り移ります。

リフトへの乗り方が特徴的です。椅子の部分だけをレバーで浮かせてリフトに乗ります。



スキー場内はレストハウスに隣接した駐車場やトイレも整備されています。身体障害者手帳の提示でリフト料金が大人料金の半額となります。



山上でインストラクターと

クラブでは、チェアスキーをはじめたい方をサポートする初心者講習を行なっています。チェアスキーはレンタルがあります。はじめはマンツーマンで経験豊富なインストラクターが指導しますので、ぜひチャレンジしてみたいかがでしょうか。

東北チェアスキークラブ野田さん

問い合わせ

東北チェアスキークラブ事務局

☎022-289-6352



初めて体験した東京都の富樫さん

脊髄損傷で車いすを使い始めてから6年が経ちます。スポーツとしては車いすテニスの経験があります。チェアスキーは、現地までの移動や準備など正直にいうと、ハードルが高いイメージがありました。テニス仲間から何回か誘われていましたが、なかなか一歩を踏み出せませんでした。今回は宮城でようやくチャレンジできました。



体験後のコメント

宮城では、初心者向けの教室が開催されていて参加しやすいのは魅力でした。スキー場のレストハウスも車椅子での移動やトイレ等の環境が配慮されていて快適にスキーに集中できました。雪山というダイナミックな開放感は他のスポーツと一味違います。同じ障害を持つインストラクターからの的確なアドバイスは本当に参考になりました。ぜひ、続けて行きたいと思っています。

バリアフリーな旅行を実現するためのお役立ち情報

●JR運賃割引

対象者	種類	割引率	備考
第1種障害者(※)とその介護者	普通乗車券 回数乗車券	50%	
第1種障害者とその介護 又は12歳未満の障害児と その介護者	定期乗車券	50%	小児定期旅客運賃については 割引対象外、介護者は1名の み適用
第1種障害者・第2種障害 者が単独で利用する場合	普通乗車券	50%	片道の営業距離が100kmを 超える場合

(※) 第1種障害者～身体障害者手帳(視覚1～3級・4級の一部、聴覚2級・3級、肢体1級・2級・3級の一部、ぼうこう・直腸の4級を除く内部障害1～4級)所持者、療育手帳A所持者、第2種障害者～第1種障害者以外の身体障害者手帳・療育手帳所持者

●バス運賃(仙台市営バス・宮城交通)、地下鉄運賃(仙台市地下鉄)

身体障害者手帳又は療育手帳、精神保健福祉手帳(本人のみ)の提示により、運賃の割引が受けられます。

[問い合わせ先]

仙台市交通局TEL:022-224-5111、宮城交通TEL:022-771-5310

交通機関	手帳所持者本人	介護者 (宮城交通は第1種障害者の介護者)
仙台市営バス	50%	50%
宮城交通	50%	50%
仙台市地下鉄	50%	50%

●有料道路通行料金

事前に市町村から通行料金割引の認定を受けている身体障害者手帳又は療育手帳を料金所係員に提示することにより、有料道路の通行料金の割引が受けられます。

[問い合わせ先]

仙台市各区役所障害高齢課、市(社会)福祉事務所、町村福祉担当課

区分	割引率	身体障害者手帳	療育手帳	手続き ・問い合わせ
障害者本人 が運転される 場合	50%	○	-	あらかじめ、市町村障害福祉担当窓口で割引制度適用の申請が必要です。 (ETC利用での割引制度適用の申請もできます)
介護者が運 転し障害者本人 が同乗される 場合	50%	第1種 身体障害者	第1種 知的障害者	障害者本人又は障害者の親族等が所有する自動車 で、障害者1人につき1台 が割引対象となります。

●タクシー運賃

身体障害者手帳又は療育手帳の提示により、運賃が10%割引となります。
手帳の写真と番号にて、本人確認があります。

[問い合わせ先]宮城県タクシー協会TEL:022-288-1113

割引率	身体障害者 手帳	療育手帳	精神障害者 保健福祉手帳	備考
10%	○	○	-	介護タクシー等割引を実施していないタクシー会社もありますので、 乗車する前にご確認ください。

●市街地の駐車場

仙台市営の駐車場の駐車料金が、手帳提示で1時間無料となります。

対象

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方が運転
又は同乗する自動車

対象駐車場

二日町駐車場 TEL:022-261-6036

勾当台公園地下駐車場 TEL:022-266-3813

泉中央駅前駐車場 TEL:022-218-2650

仙台マークワン駐車場 TEL:022-714-1360

●国内航空運賃・旅客船運賃

チケット等を購入するときに、身体障害者手帳・療育手帳を提示して下さい。

割引率等、詳しくは航空会社または旅客船会社に確認して下さい。

◆航空機の利用

ANA・IBEX・エアドゥ ANA おからだの不自由な方の相談デスク

TEL:0120-029-377 FAX:0120-029-366(年中無休 9:00～17:00)

携帯電話をご利用の場合TEL:0570-029-377(有料)

JAL(国内線)

プライオリティ・ゲストサポート 年中無休 9:00～17:00

TEL:0120-747-707

※フリーダイヤルがご利用いただけない場合 携帯電話・海外からの国際電話等

TEL:03-5460-3783(有料)

シニアおでかけサポート JALスマイルサポート

TEL:0120-25-0001 営業時間:7時～20時(年中無休)

※耳の不自由な方は、各航空会社のホームページを参照。

◆旅客船の利用

太平洋フェリー

保有船3船のうち、2船がバリアフリー対応の船舶となります。

予約センター TEL:022-263-9877

受付時間(平日)9:00～19:00(土日祝)9:00～18:00

なるほど！旅のコツ

旅の達人が教える車椅子ユーザーの宿の選び方

宿を選ぶ場合、バリアフリールームがあることがベストですが、まだ数は多くありません。バリアフリー度を重視するか少々不便でも趣を重視するのも選ぶポイントになります。宿泊施設や旅行会社のサイトには、バリアフリーと謳っているところも少なくありませんが、細かい情報までは掲載されていないことが多く、宿泊時にこんなはずじゃなかったという話をよく聞きます。18ページに掲載されている相談窓口の活用や宿に直接連絡をして情報を集めましょう。宿にこちらの情報を伝える際、なかなか伝わらないこともあるかもしれません。19ページのチェックリストを活用して、電話、FAXやメールで問い合わせしましょう。その際「エレベーター近くの部屋は可能か」「バイキングの席は配慮してもらえるか」など、より具体的に伝えることがポイントです。

バリアフリールームがある宿泊施設は、一般的に車椅子の貸し出しも行ってはいますが、数に限りがあるので必要な方は事前に問い合わせし



バリアフリールームの例 /旅館、ビジネスホテル

ましょう。共用スペースにバリアフリートイレがあるか、ホテル玄関にスロープはあるかなど、施設全体のバリアフリー対応も重要なポイントです。宿によっては、入浴のための福祉用具やクロゼット用S字フック、フォーク、スプーンなどの貸し出しをしているところもありますが、ご自分で使い慣れたものを持参することも旅を快適にする工夫です(S字フックは100円ショップなどで購入できます)。

特定非営利活動法人
ゆにふりみやぎ
伊藤 清市 理事長



旅への不安や緊張を、わくわくとドキドキに変えるための 旅行を計画する際の3つのポイント

○ゆとりのあるプラン

せっかくの旅、多くの場所を訪れたいと思いますが、あまり詰め込みすぎると疲労に繋がったり、公共交通機関の利用がしにくくなったりします。あと1、2カ所行きたいと思うくらいのゆとりのあるプランを立ててみてはいかがでしょうか。

○目的にあった計画を

旅の目的は人それぞれだと思います。バリアフリーが整備されているところはでかけやすいですが、多少の不便さがあっても行きたいところ、やりたいことに挑戦してみるのも大切です。相談窓口やインターネット等の情報を利用して日常との違いを味わいましょう。

○仲間やサポーターとともに

病気や障害になって、外出や旅行に不安を感じる方は多いと思います。一步を踏み出すためには、例えば、家族、リハビリや介護のスタッフなどの周りの方を巻き込んで企画するのもよいでしょう。バリアフリー旅行をサポートしてくれる機関などの相談窓口も活用していきましょう。

旅行をサポートする情報や相談先

旅行をサポートするWEBサイトのご紹介/Q Rコード

みやぎバリアフリー情報マップ/宮城県社会福祉課 http://www.pref.miyagi.jp/syahuoku/t-fukushi/f/index.html		宮城県内の各種施設について、利用に配慮した設備の状況に関する情報をご紹介します。
全国バリアフリー旅行情報/日本バリアフリー観光推進機構 http://www.barifuri.jp/portal/index.html		全国千ヶ所を超える観光施設を調査したバリアフリー情報が掲載されています。
日本ユニバーサルツーリズム推進ネットワーク http://jutn.net/		日本ユニバーサルツーリズム推進ネットワークでは、高齢者、障がいがある人にとって、旅先での安心・安全を基本に旅がより豊かにするために様々なサービスに取り組んでいます

旅の相談先 宮城県内でバリアフリー旅行支援やユニバーサルツーリズムの普及に取り組んでいる機関

特定非営利活動法人ゆにふりみやぎ/仙台バリアフリーツアーセンター TEL 022-726-7503 FAX 022-726-7289 電子メール mail@sendaibftc.info ホームページ http://sendaibftc.info/		ホームページで宮城県内のバリアフリー情報の提供を行いながら、電話、FAX、メールでご相談を受け付けております。どんな些細なことでも結構です。お気軽にご相談ください。
UT 宮城/ユニバーサルツーリズムみやぎ 電子メール ewiasyukmea@yahoo.co.jp		障がいがある方や高齢者の方が、宮城県にご旅行に来られた際のサポートを提供します。 サポートとしましては、介助者の派遣、送迎やホテルの手配、他相談などもお受けしておりますので、お気軽にご相談ください。

宮城県内で障害のある方の社会参加の促進に取り組んでいる機関

宮城県障害者社会参加推進センター /社会福祉法人宮城県身体障害者福祉協会内 TEL 022-291-1587 FAX 022-291-1588	障害の有無にかかわらず誰もが家庭や地域で明るく暮らせる社会づくりに向け、障害者自身による社会参加活動等を実施し、地域における自立生活と社会参加を推進することを目的に設置されています。
---	---

旅 の メ モ

旅行日程	<input type="checkbox"/> 日帰り <input type="checkbox"/> 宿泊 (泊 日)
出発地	
旅行する方の人数	人
旅で実現したいこと	
宮城で行きたいところ	<input type="checkbox"/> あり () <input type="checkbox"/> なし
宮城で体験したいこと	

より旅をイメージするためのチェックリスト

このチェックリストは、旅行する方の希望や要望、困ると思われる点を整理し、より具体的に旅をイメージすることを目的に作成しております。
チェックリストを活用することで、行き先の観光資源の情報を得るきっかけ、観光施設への問い合わせ、必要なサポートにつながれば幸いです。

旅行行動	心配なことや必要なサービスについてのチェック項目
計画	<input type="checkbox"/> 観光(単独・複数) <input type="checkbox"/> 冠婚葬祭(単独・複数) <input type="checkbox"/> ビジネス(単独・複数) <input type="checkbox"/> イベント(単独・複数) <input type="checkbox"/> その他(単独・複数)
情報の入手	<input type="checkbox"/> 相談先について知りたい <input type="checkbox"/> 行きたいところが決まっていない <input type="checkbox"/> 観光地の情報を知りたい <input type="checkbox"/> 旅行者の特性に応じた情報が欲しい (<input type="checkbox"/> 点字 <input type="checkbox"/> 音声 <input type="checkbox"/> バリアフリー情報 <input type="checkbox"/> トイレ情報 <input type="checkbox"/> 現地医療情報 <input type="checkbox"/> 地図)
旅行準備	<input type="checkbox"/> もって行くとよい持参品が知りたい(あると便利なもの、必須なもの) <input type="checkbox"/> 事前に手配が必要 <input type="checkbox"/> 酸素ボンベ <input type="checkbox"/> 吸引器 <input type="checkbox"/> 吸入器 <input type="checkbox"/> 医療機器 <input type="checkbox"/> 車椅子(種類:) <input type="checkbox"/> 歩行補助つえ <input type="checkbox"/> 入浴支援用具(シャワーチェア、バスボード) <input type="checkbox"/> その他()
同行者	<input type="checkbox"/> 同行案内者 (<input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 一部必要()) <input type="checkbox"/> 手話通訳者 (<input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 一部必要()) <input type="checkbox"/> 補助犬 <input type="checkbox"/> 同行介助者(ヘルパー)が必要 <input type="checkbox"/> 同行者もしくは家族・友人等
出発地から 目的地への移動	<input type="checkbox"/> 交通機関のチケットの手配 <input type="checkbox"/> 乗り換えが心配 <input type="checkbox"/> 事故や遅延情報の入手方法 <input type="checkbox"/> バリアフリーな動線(段差、エレベーター、距離が短い等)に関する情報
目的地到着 目的地内での移動 現地交通手段	<input type="checkbox"/> レンタカー (<input type="checkbox"/> 自操式福祉車両、 <input type="checkbox"/> 車椅子が積載可能な車両等の福祉車両) <input type="checkbox"/> 公共交通機関を利用したい <input type="checkbox"/> 地図を入手したい <input type="checkbox"/> 車椅子をレンタルしたい <input type="checkbox"/> 福祉タクシーを利用したい
観光・体験 見学 食事 買い物 アクティビティ	<input type="checkbox"/> 観光や体験中に工夫された案内・誘導をして欲しい <input type="checkbox"/> 車椅子でトイレを利用できる施設 <input type="checkbox"/> 点字案内が欲しい <input type="checkbox"/> 体験中に介助をして欲しい <input type="checkbox"/> 五感で楽しみたい <input type="checkbox"/> 理解度に合わせた説明をして欲しい <input type="checkbox"/> 手話通訳をして欲しい <input type="checkbox"/> 観光中に休息できる場所が欲しい <input type="checkbox"/> 理解しやすい工夫されたパンフレットが欲しい <input type="checkbox"/> 食べやすい食事に配慮して欲しい <input type="checkbox"/> 写真等によるガイドが欲しい <input type="checkbox"/> 移動の動線に配慮して欲しい
宿泊施設	<input type="checkbox"/> 旅行者に合わせたわかりやすい説明をして欲しい <input type="checkbox"/> 丁寧な説明をして欲しい <input type="checkbox"/> フロントへの連絡方法が心配 <input type="checkbox"/> バイキング料理のとり方が心配 <input type="checkbox"/> 食べやすい食形態・食事メニューに配慮して欲しい <input type="checkbox"/> 段差がないバリアフリーな動線が必要 <input type="checkbox"/> 手話・筆談等非常時の連絡方法 <input type="checkbox"/> 車椅子でも利用できる部屋 <input type="checkbox"/> トイレや入浴のスペースへの配慮 <input type="checkbox"/> オストメイト設備 <input type="checkbox"/> 近隣に緊急時に対応できる医療機関があるか

障害のある方・高齢の方とご家族のための
旅行サポートブックみやぎ 取材エリアマップ

数字は掲載ページ



発行元・問い合わせ先

宮城県リハビリテーション支援センター
〒981-1217 宮城県名取市美田園二丁目1-4
電話 022-784-3588 電子メール rehabilis@pref.miyagi.jp

平成 27 年 3 月発行